

物価高騰下における来年度予算編成の考え方について(12月議会)

質問

物価高騰対策として市の考え方について伺う。

答弁

近年、物価高騰が続いており、特に年金収入のみに頼られている高齢者の皆様が家計のやりくりで苦慮されている事と認識致している。また、将来的な出費を抑えるために外出や社会参加を控えがちになるなど、心身の健康維持にも影響を及ぼしかねない状況にあると考えている。



はんざわ多美市議

質問

上がらない年金で暮らす高齢者に対する市独自の継続的な政策が必要ではないか。

答弁

これまでも継続的な支援策として、配食サービス事業や、緊急通報装置を自宅に設置する見守りほっとライン事業などを実施しております。

更に、71歳から74歳の方を対象とした医療費の一部を助成する大垣市老人医療費助成制度、いわゆる「垣老」を実施しており、医療費の自己負担が1割となる様、助成する事で、高齢者の皆様が経済的な心配をする事なく、早期に医療機関を受診できる環境を整えております。

また、「買い物de(デ)リハ」や「お風呂de(デ)リハ」などのフレイル予防教室、「笑・話・歯動場(わっはっはどうじょう)」など多様な通いの場を提供し、高齢者の心身の健康維持増進を図っております。また、「水都生き生き健康プロジェクト」では、ウォーキングイベントやまちなかスクエアガーデンと連携した健康フェア等を開催して、社会参加の機会を増やすことで、健康意識の向上を図っております。

更に、外出支援として実施している高齢者おでかけバス助成事業につきましては、路線バスで外出される際のバス運賃の一部を助成するもので、今年度から、通院に限定していた行き先要件を買い物等全ての外出に拡充させて頂き、また、年齢要件も70歳以上から65歳以上へ引き下げ、より多くの方の外出機会の創出と社会参加の促進を図っている所でございます。

意見

高齢者の窓口医療費を原則一割負担にする老人医療費(垣老)制度の費用(支出)は、年々減少しています(4年で約5000万円)。高齢者の移動を支える福祉輸送に予算を付け替える発想はないのか。神戸町や他都市を羨む大垣市民の声をもっと真摯にきくべきです。

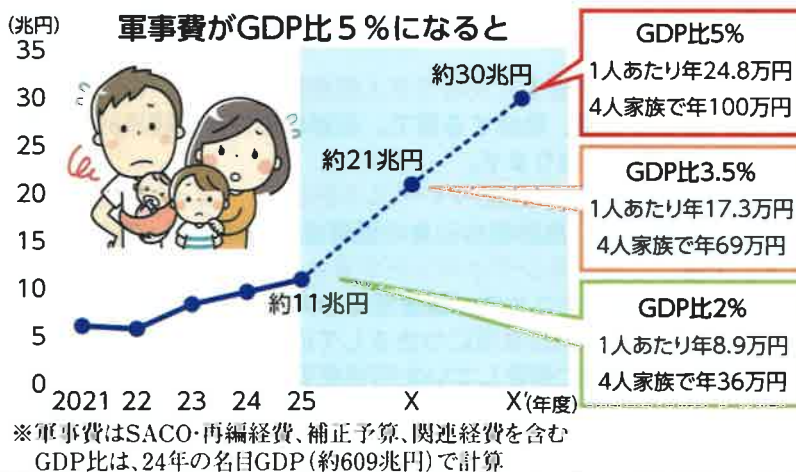
中田としや
市議大垣市老人医療費(垣老)
受給者数と給付額変化



赤旗日曜版
申込み

赤旗日曜版
ひと月990円
月4回発行
無料お試し期間
あり

高市首相は選挙後さっそく「国民に信任をいただいた」「憲法改正の挑戦も進める」と宣言しています。戦後かつてない「戦争国家づくり」の危険性が生まれています。人権と平和、暮らしを守る国会内外の動きを綿密な取材のもと報道する赤旗しんぶんです。ぜひ。



自民党政権のもと、トランプ言いなり(軍拡GDP5%要求)の大軍拡が進んでいます。その財源として、来る4月には法人税とたばこ税の引き上げ決まっています。また、来年1月には所得税の引き上げが行われます。円安が進むこともあわせると、国民の暮らしへの影響は一段と厳しいものにならざるをえません。

平和憲法をもつドイツでは、日本と同じような右派勢力が多数を占める国会ができ、あっという間に徴兵制が復活してしまっています。日本でもそうした危険性が高まっています。断固反対します。

日本共産党への ご支援ありがとうございました。

今回の衆議院選挙では、日本共産党の議席は4議席に終わりました。東海ブロックの議員が0になってしまったことは、この地域の医療や福祉、教育の課題や平和問題に真剣に取り組む議席であっただけに悔やまざるを得ません。

女性初の総理大臣として「強い日本」を掲げた自民党が圧勝しました。閉塞感が漂う政治を変えてくれそうという期待も大きかったことでしょう。

一方で、これからの国会運営において自民党高市政権に国民は「すべて一任」したわけではないと考えます。今後は今までも増して、国会の動きを注視して参ります。

また、選挙の終盤には、「#ママ戦争止めてくるわ(投票に行ってくる)」がXのトレンド1位になるほど平和に対する切実な思いも広がりました。「平和が一番」の願いも、市民のみなさんとともにしっかりと取り組んでまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

日本共産党大垣市委員会



三尾圭司